

校長室だより

令和3年6月10日（木）

羽咋市立瑞穂小学校 No. 7



共 育

聖火をつないだトーチ

6月8日（火）に聖火ランナーの古永健雄さんが、東京オリンピック・パラリンピックをより身近に感じて欲しいとの思いから、本校の児童全員にトーチにふれる機会を設けていただきました。

1～6年生の各教室を回り、教頭先生がオリンピックの聖火について話し、古永さんが聖火リレーでの「オリンピックの聖火を次につなげる責任の重さ」について話され、児童一人一人がトーチを持つことができました。

一人一人、とても貴重なトーチを大切に持ち、次の人へとリレーしていました。トーチを持った児童からは、「トーチを持つことができ、うれしかった。」や「トーチは少し重かったが、持って次の人は渡す時は緊張した。」などの感想がありました。

最後に、児童を代表して、6年生代表児童が、「これから私たちも、聖火の火のように何事にも強い気持ちで頑張ります。」と古永さんに感謝の言葉を述べました。

なお、聖火リレーのユニフォーム・シューズ、聖火リレー当日の様子の写真などは、古永さんのご厚意により、図書室横のコーナーに展示することができました。児童は、とても興味深そうに見ていました。貴重な機会をつくっていただき本当にありがとうございました。



ペーパーレス化に伴うアンケートのお願い

文部科学省より「学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について」の通知がありました。その通知に基づき、学校から保護者の皆さんへの連絡（校長室だより・校長名による通知・PTA会長名による通知・保護者アンケート）をペーパーレス化し、試行していきたいと考えています。

つきましては、保護者の皆さんにアンケートをお願いします。